

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	7	学 校 名	伊豆総合高等学校土肥分校	校 長 名	所 康俊
------	---	-------	--------------	-------	------

1 スクール・ミッション

小規模校ならではの手厚い指導のもと、一人ひとりが主役となり輝く学校として、西伊豆地域の自然環境を生かした体験活動を通して新しい自分を発見し、自己肯定感と自己有用感を育むことで自信を持って社会にはばたく生徒の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
○知・徳・体のバランスがとれており、「規範意識や問題解決に向けての協働」といった、将来社会において必要となる資質・能力を身に着けた生徒。	○地域学習や自然体験、マリン学習等をとおして挑戦する気持ちや主体性を育む。 ○授業や学校行事、総合的な探究の時間において、自分の意見や考えをまとめ、発表するなど、自己表現の機会を作る。 ○小規模校の特徴を生かした学習指導と進路指導を行う。	○人の話を素直に聞き、前向きに取り組もうとしている生徒。 ○自己を向上させるために、失敗を恐れず積極的に取り組もうとしている生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る。
- イ 生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。
- ウ 学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。
- エ 家庭との連携強化を図る。
- オ 地域、異校種との連携、協働を推進する。
- カ 校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る。	教員が高等学校における特別支援教育について研修し、個に応じた支援の充実を図る。	特別支援教育について年間 2 回の校内研修の実施。	教育相談
		教職員と外部支援員（SC, SSW 等）が連携し、早期支援・早期対応を実現することで、生徒の成長を見守る。また、定期的に教育相談連絡会を開催し、その内容を全教員で共有する。さらに、いじめ防止対策も含め、生徒の変化に対して早期発見・早期対応することができるよう取り組む。	教育相談連絡会の月間 1 回の実施。 生徒アンケート「困ったときに相談できる人がいる」の“当てはまる”が 80%以上。 年 2 回の生徒アンケートや、生徒からの申し出によるいじめ事案の早期発見・早期対応の実施。	教育相談 生徒課
		学校や社会のルールやマナーの大切さを伝え、生徒の規範遵守への意識を高める。	生徒アンケートで「学校や社会のルールやマナーを守って行動している」が 95%以上、保護者アンケートで「土肥分校生は、挨拶や言葉遣い等がしっかりと出来ている」と地域アンケートで「本校生徒の服装・頭髪等は高校生らしいと思います。」が 75%以上。	生徒課
		体育的行事や授業等の教育活動全般を通じて、自主的、積極的に運動に取り組む姿勢と基礎体力の向上を図る。	新体力テスト 8 種目中 4 種目で、前年度（1 年生は春）の記録を更新した生徒が 60%以上。	体育科
		食事や睡眠など規則正しい生活習慣を確立し、心身ともに健康で安定した学校生活を送る。	1 日 3 回の食事を摂り生活リズムを作る。朝食摂取率 90%以上。定期的な生活実態調査で、実態を把握する。健康講座を通して健康への関心を高め、健康な生活を実践できるよう継続的に指導する。毎日、6 時間以上寝ている生徒 80%以上。毎日、規則正しく生活している生徒 70%以上。	保健課

様式第 1 号

イ	生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。	進路指導計画に基づいて、生徒一人ひとりに対応した指導内容の充実を図る。	生徒アンケートで「学校は、進路について計画的に指導している」が 80%以上、「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」が 80%以上。	進路課
		育てたい生徒像に向けた、授業の展開を目指す。生徒の学力を的確につかみ、指導の検証、改善に結び付け、生徒の学習改善につながる観点別評価を確立する。	生徒アンケートで「本校入学後、学力が向上した。」”あてはまる”が 60%以上	教務課
		生徒にとって分かりやすい授業を行う。	生徒アンケート「授業の内容がよくわかる」の“当てはまる”が 80%以上。	各教科
		朝読書・朝学習の時間を有効に使い落ち着いた授業態度を養うとともに、学習習慣を身につけさせる。	生徒アンケートで「朝読書・朝学習の時間を有効に使っている」が 80%以上	学年部 図書担当
ウ	学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。	輝潮祭、マリン実習等の行事について、目的や実施方法の観点から充実を図る。	生徒アンケート「学校行事に満足している」が 80%以上	生徒課
		TOIゼミなど、体験型や課題解決型の学習を通して、自己のあり方生き方を考え、社会性を育む。	「土肥分校入学後、様々な活動することによって、少しずつ自分に自信が持てるようになった」が 70%以上	教務課 進路課 学年部
		学校生活を通して、自己肯定感や社会性を育み、自己表現方法を身に着ける。	生徒アンケート「学校生活が楽しい」の“当てはまる”が 80%以上。	学年部
エ	家庭との連携強化を図る。	学校、家庭が連携し、共に生徒を育てる関係を築く。	保護者アンケートにおいて「学校は保護者や地域との連携を深め、保護者や地域の理解を得ている。」が 80%以上。	総務課
		学校ホームページや各種便りで、学校の取組や魅力を随時、地域や家庭に発信する。	保護者アンケートで「学校はホームページや土肥高通信、学年だより、学級通信等で、生徒の様子をよく伝えている」70%以上。	総務課
オ	地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。	土肥高通信を発行し、学校の様子や生徒の活躍を地域の回覧板を利用して広報する。	地域住民アンケートで「土肥高通信を読んだことがある」が 80%以上。	総務課
		地域の防災訓練等の地域行事や、ボランティア活動に参加し、地域住民から生き方等を学ぶ機会をつくる。	生徒アンケートで「地域の活動に参加した」または「本年度、ボランティア活動に参加した」が 50%以上。	総務課 ボランティア担当
		防災訓練・防災学習を実施し、自助共助の精神を養い防災意識と知識の向上を図る。	生徒アンケートで「災害が起きた時の準備や心構えができています。」が 80%以上。	総務課
		本校・分校間の行事連携など他との連携を通して、参加だけでなく表現も行うことで、視野を広げ、充実感や達成感を与える。	生徒アンケートで「本校との交流について、積極的に参加して成長することができた。」が 60%以上。	生徒課 教務課
カ	校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。	振替、割振の取得を徹底するとともに、勤務時間の著しい超過が起きないように配慮する。	勤務超過時間年間 360 時間以内	管理職
		内外の安全点検を定期的実施し、危険個所の迅速な把握及び改善に努める。	法定安全点検の実施し、学校施設における事故発生数を 0 件。	事務部 保健課
		教職員が、心身ともに健康で、元気に働ける職場環境を形成する。	職員安全衛生委員会の月 1 回程度開催、職場の健康づくり講座の開催、教育 DX の推進。	管理職 保健課

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。